epico

Hand-held Projector

取扱説明書

目次

警告 3

本マニュアルについて 3

安全上の注意 4

準備をする 6

付属品一覧 6

各部名称 7

電池を充電する 8

基本操作 9

プロジェクターを起動する 9

支柱を使用してプロジェクターを設置する 9

フォーカスを調整する 10

プロジェクターの電源をオフにする 10

プロジェクターをリセットする 10

アプリケーションを使用し、投写を開始する ... 11

iOSシステムの投写操作 11

Androidシステムの投写操作 12

Windowsシステムの投写操作 14

アプリケーションを設定する(ワイヤレスのみで使用する)..... 16
SSID 16
スリープ 16
キーストーン 17
情報の提供 17
HDMIを使用して投写を開始する 18
プロジェクターFWバージョンの更新 19
仕様..... 20

1 警告

本マニュアルについて

epico ハンドヘルド･プロジェクターをお買い上げいただき、ありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、今後のため、本マニュアルをきちんと保管してください。

- WindowsはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国に登録されている商標で、著作権はMicrosoft Corporationが保有しています。
- 本マニュアルに記載されたブランド名または商品名はすべて識別目的でのみ使用され、それぞれの所有者の登録商標です。
- 本マニュアルには、epico ハンドヘルド･プロジェクター（以降プロジェクター）の使用法に関する取扱説明が記載されています。

2 安全上の注意

ここに示した注意事項は、プロジェクターを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 不適切に廃棄したり、高温にさらさないようにしてください。
- 濡れた環境や湿った環境でプロジェクターを操作しないでください。浸水すると、感電や他の破損の原因となります。
- プロジェクターにダメージを与えてしまう可能性があるので、極端な温度環境に放置しないでください。
- 破損したプロジェクターは操作しないでください。プロジェクターを分解した場合は保証が無効になります。
- プロジェクターを使用中、人の目に直接向けないよう注意してください。
- 水に濡れやすい場所や砂のある場所にプロジェクターを放置・保管しないでください。故障や破損の原因になります。
- プロジェクターは動物や幼児の手の届かないところに保管してください。
- 不安定な場所や振動する場所に置かないでください。

- プロジェクターのレンズが汚れている場合、柔らかい布で軽く拭いてください。
- 次のような場所でプロジェクターを使用しないでください。

  1. 雨の当たる場所や、非常に湿気、ほこりの多い場所。

  2. 直射日光や高温の場所に放置しておくとプロジェクターが発火する可能性があります。例えば、夏に窓の閉め切った車の中など。

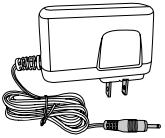
  3. モーター、トランス、磁石など磁気の影響を受けやすい場所。

3 準備をする

付属品一覧

パッケージにはご購入されたプロジェクター、および次の付属品が含まれています。付属品が足りない場合や破損している場合は、販売店にご連絡ください。

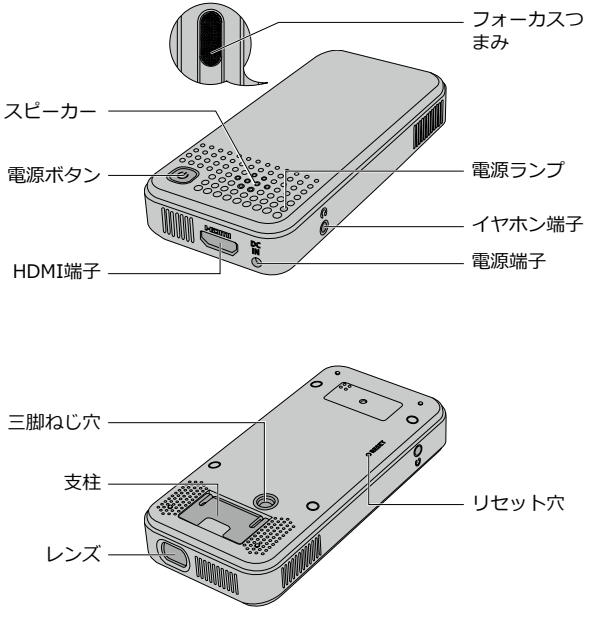
かんたん操作ガイド



AC アダプター

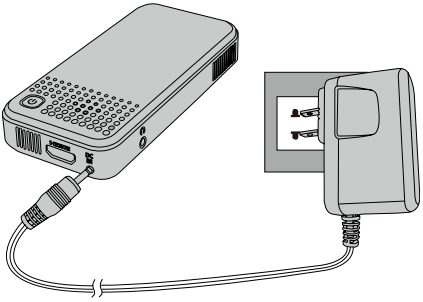
保証書

各部名称


フォーカスつまみ
スピーカー
電源ボタン
電源ランプ
イヤホン端子
電源端子
HDMI端子
三脚ねじ穴
支柱
リセット穴
レンズ

電池を充電する

1. プロジェクターの電源をオフにして、AC アダプターと接続してください。
2. AC アダプターのプラグを壁のコンセントに差し込んで、充電します。

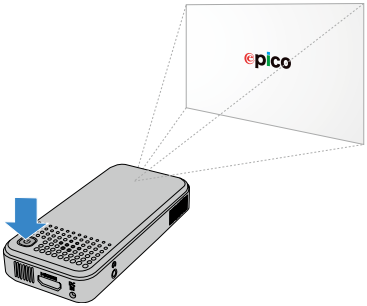


3. 電源ランプ:
   赤: 充電中
   緑: 充電完了
4. 電池の寿命を最大限に延ばすために、最初の充電は4時間以上行ってください。

4 基本操作

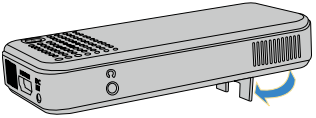
プロジェクターを起動する

1. 電源ボタン ⏻ を３秒長押しすると、プロジェクターの電源がオンになり、電源ランプが点灯します。
2. 電源ランプが点灯後、プロジェクターは投写を開始します。



支柱を使用してプロジェクターを設置する

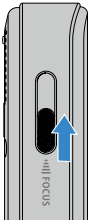
1. 指で支柱を起こします。



2. プロジェクターを安定した場所に設置します。

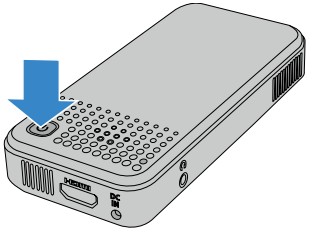
フォーカスを調整する

フォーカスつまみを動かして、映像のフォーカス（焦点）を調整します。



プロジェクターの電源をオフにする

1. プロジェクターの電源を切る前に、投写しているファイルを閉じてください。
2. 電源ボタン ⏻ を 3 秒長押しし、プロジェクターの電源をオフにします。



プロジェクターをリセットする

プロジェクターの操作中に、ハングアップ現象が発生した場合は、細長い棒先（ピン形状）で、リセット穴からスイッチを押してください。プロジェクターはオフして、正常な状態に回復します。

5 アプリケーションを使用し、投写を開始する

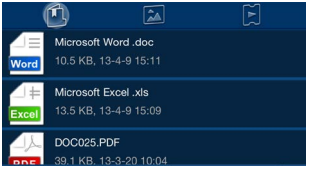
iOSシステムの投写操作

ご使用のシステムに対して、異なったフォーマットのファイルは、互換性に差異が生じて、一部フォーマットのファイルを読み取れない可能性があります。ファイルを投写するとき、エラー現象を発生させないために、PDFフォーマットのファイルで投写することをお勧めします。

ご使用のデバイスは、一つのワイヤレス信号のみと接続することができるため、デバイスを使用して、ワイヤレスネットワークで、プロジェクターと接続しても、ストリーミングの放送機能（例えば、YouTube ® や Facebook ® など）、及びWebブラウザの使用ができません。

1. ワイヤレスネットワークで、デバイスとプロジェクターを接続する前に、デバイスに **epico (wireless projector) アプリケーション** epico をダウンロードし、インストールしてください。
   その後、投写するファイルをデバイスに転送してください。
2. **epico (wireless projector) アプリケーション** epico をダウンロードするには、デバイスの電源をオンにして、ワイヤレスネットワークに接続し、App Store ® を開き、 **epico (wireless projector) アプリケーション** epico を検索して、ダウンロードし、インストールしてください。
3. USBケーブルで、デバイスとパソコンを接続して、パソコン内の iTunes ® アプリケーションを開いてください。
4. iTunes ® アプリケーションの表示インタフェース内にある、デバイスの名称（iPhone、iPad あるいは iPod touch）を検索してクリックすると、「概要」のインターフェイスに入ります。
5. デバイスの「概要」ウィンドウ上面にあるコマンドラインの「APP」をクリックし、アプリケーション表示インターフェース下面の **epico (wireless projector) アプリケーション** epico をクリックします。投写ファイルを追加する場合は、「追加」をクリックしてください。
6. 投写ファイルの追加が完了したとき、USBケーブルを取り外して、デバイスとパソコンの接続を解除してください。

7. 投写する前に、電源ボタン ⏻ を３秒長押しし、プロジェクターを起動させます。
8. プロジェクターの電源をオンにすると、ワイヤレスネットワークは自動的に「epico-XXXX」信号(信号の名称は SSID の名称と同じで、ユーザで設定することができます)を検出します。この信号を選択すると、デバイスとプロジェクターが接続されます。
9. デバイスにインストールした、 **epico (wireless projector) アプリケーション** epico をクリックすると、デバイスにファイル選択インターフェースが、以下の図のように表示されます。

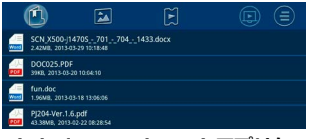


10. 投写を行うファイルを選択してクリックします。
11. ファイルの画面上、3種類のドキュメント（文書、写真、ビデオファイル）から選択することができます。
12. ドキュメントを選択すると、インターフェイスに同様のドキュメントが表示されます。投写ドキュメントをクリックすると、投写が開始します。投写が終了すると、ドキュメントを選択するインタフェースに戻り、次の投写ドキュメントを選択することができます。

Androidシステムの投写操作

1. ワイヤレスネットワークで、ご使用のデバイスとプロジェクターを接続する前に、デバイスに**epico (wireless projector) アプリケーション** epico をダウンロードし、インストールしてください。
   その後、投写するファイルをデバイスに転送してください。

2. **epico (wireless projector) アプリケーション** をダウンロードするには、ご使用のデバイスの電源をオンにして、ワイヤレスネットワークに接続し、Google Play ® を開き、**epico (wireless projector) アプリケーション** を検索して、ダウンロードし、インストールしてください。
3. USBケーブルでデバイスとパソコンを接続して、投写するファイルをデバイスにコピーしてください。
   ワイヤレス方式（Eメールあるいは他の方法）で、ファイルを転送するときは、先にファイルをデバイスにダウンロードして保存します。
   epico (wireless projector) アプリケーション は、自動的にダウンロードしたファイルを検索します。
4. 投写ファイルの追加が完了したとき、USBケーブルを取り外して、デバイスとパソコンの接続を解除してください。
5. 投写する前に、電源ボタン を３秒長押しし、プロジェクターを起動させます。
6. プロジェクターの電源をオンにすると、ワイヤレスネットワークは自動的に「epico-XXXX」信号(信号の名称はSSIDの名称と同じで、ユーザで設定することができます)を検出します。この信号を選択すると、デバイスとプロジェクターが接続されます。
7. デバイスにインストールした、 **epico (wireless projector) アプリケーション** をクリックすると、デバイスにファイル選択インターフェースが、以下の図のように表示されます。



初めて **epico (wireless projector) アプリケーション** を使用するとき、アプリケーションは自動的にサポートする全部の投写ファイルを検索します。検索時間はデバイスのシステムとファイル数量により、異なります。

8. 投写を行うファイルを選択してクリックします。
9. ファイルの画面上、3種類のドキュメント（文書、写真、ビデオファイル）から選択することができます。
10. ドキュメントを選択すると、インターフェイスに同様のドキュメントが表示されます。投写ドキュメントをクリックすると、投写が開始します。投写が終了すると、ドキュメントを選択するインタフェースに戻り、次の投写ドキュメントを選択することができます。

Windowsシステムの投写操作

1. http://www.orient-e.co.jp/epico/にアクセスし、**epico(wireless projector) アプリケーション** epico を検索し、ご使用のパソコンにダウンロードし、インストールしてください。
2. 電源ボタン ⏻ を３秒長押しし、プロジェクターを起動させます。
3. プロジェクターの電源をオンにすると、ワイヤレスネットワークは自動的に「epico-XXXX」信号(信号の名称は SSID の名称と同じで、ユーザで設定することができます)を検出します。この信号を選択すると、デバイスとプロジェクターが接続されます。
4. デバイスにインストールした、 **epico (wireless projector) アプリケーション** epico をクリックすると、デバイスにファイル選択インターフェースが、以下の図のように表示されます。

5. **epico (wireless projector) アプリケーション**のインタフェースにある ㊂ ボタンをクリックします。ファイル管理で、「ファイルフォルダを追加」をクリックします。追加ボタンを選択して、フォルダを追加します（最多10個のフォルダを追加できます）。ファイル管理で、「ファイルを開く」をクリックして、選択ボタンを押して、単独なファイルを選択し、「投影」をクリックして投写を行います。

6. ㊂ ボタンをクリックすると、ファイル選択インタフェースに戻り、ファイルの画面上、3種類のドキュメント（文書、写真、ビデオファイル）ファイルを選択することが出来ます。

7. ドキュメントを選択すると、インターフェイスに同様のドキュメントが表示されます。投写ドキュメントをクリックすると、投写が開始します。投写が終了すると、ドキュメントを選択するインタフェースに戻り、次の投写ドキュメントを選択することができます。

ワイヤレスネットワークの転送速度はデバイスのハードウェア構成により異なります。

epico (wireless projector) アプリケーションを使用するとき、プログラムの正常動作を保つために、正規のオペレーティングシステムを使用してください。

epico (wireless projector) アプリケーションはクラウド資料の使用をサポートします。しかし、クラウドでダウンロードするとき、クラウドソフトウェアはファイルの名称を変更する可能性があります。

Windowsシステムで、Officeファイルを投写するとき、Microsoft Officeバージョンは、2007以前の古いバージョンの場合、下記二つのプラグインをインストールしてください。
：.netframework3.5download address:
：http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=21
：Microsoft Office 2007 plug-in download address:
：http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=7

6 アプリケーションを設定する (ワイヤレスのみで使用する)

epico (wireless projector) アプリケーションウィンドウ内で、設定ボタン (☰) をクリックすると、アプリケーションを設定することができます。
具体的な操作、操作画面はデバイスにより異なります。

以下の３つのオプションは設定することができます。

SSID

ワイヤレスネットワークの名前を設定することができます。ネットワークのセキュリティ設定もでき、ワイヤレスネットワークの開放モードあるいは暗号化モードに設定することができます。

設定したSSIDのパスワードを忘れたとき、または初期設定に戻したいときは、電源ボタン (⏻) を押した状態にて、細い棒先（ピン形状）を用いて、リセット穴からスイッチを押して頂くと、プロジェクターは初期設定状態に戻って、再起動いたします。起動後に、電源ボタン (⏻) は離して頂いて構いません。

リセット動作時に、シャープペンの芯などの、折れやすい物は使用しないでください。

スリープ

この設定により、休眠モードを開き、電池の寿命を延ばすために、連続投写時間を設定します。
3種類のメニューから選択することができます（10分、15分、20分）。

キーストーン

⊕⊖ を使用して、投写画面のゆがみを調整することができます。最適な形状に調整してください。

情報の提供

このオプションには、 **epico (wireless projector) アプリケーション**の バージョンと著作権の帰属について、記載してあります。

7 HDMIを使用して投写を開始する

ご使用のデバイスが、HDMI出力をサポートしている場合は、HDMIケーブル（別売り）を使用して、デバイスとプロジェクターを接続することができます。 **epico (wireless projector) アプリケーション**に接続しなくても、投写画面にデバイスの画像が表示されます。

HDMIケーブルを接続して投写を行うとき、ライブストリーミングのアプリケーション（YouTube ® や Facebook ® など）を使用することができます。

1. プロジェクターの電源をオンにします。
2. HDMIケーブルを使用して、HDMIをサポートするデバイスとプロジェクターを接続すると、投写画面にデバイスの画像が表示されます。

iOSシステムの制限説明：

（1） iPad1、iPhone4以前、iPod touch4以前のバージョンは、HDMIサポートにより、画像と動画のみ投写できます。

（2） iPad2以降、iPhone4S以降および新バージョンでは、HDMIサポートにより、操作画面を投写できます。

HDMIを使用して投写を開始するときは、プロジェクターのワイヤレスネットワーク機能は使用できません。

HDMIを使用して投写するときの画像サイズは以下の通りです。

640x480P [60Hz (4:3)],
720x480P [60Hz (4:3)/60Hz (16:9)],
720x576P [50Hz (4:3)/50Hz (16:9)],
1280x720P [50Hz (16:9)/60Hz (16:9)],
1920x1080P [23.97Hz (16:9)/24Hz (16:9)/25Hz (16:9)/29.97Hz (16:9)/ 30Hz (16:9)]

8 プロジェクターFWバージョンの更新

最新のFWがリリースされた時は、次の手順で更新を行ってください。

1. 最新のFWバージョンをパソコンのハードドライブにダウンロードしてください。
2. プロジェクターの電源をオンにして、ACアダプターと接続してください。
3. ワイヤレスネットワークを使用して、プロジェクターとパソコンを接続します。Webブラウザを開き、IP(192.168.214.1)を入力すると、FWバージョンの更新インタフェースに入ります。
4. 更新インタフェース上の表示に沿って操作を行ない、プロジェクターのFWバージョンを更新してください。

最新FWがリリースされた際は、ORIENT ENTERPRISE CO., LTD.のホームページ
（http://www.orient-e.co.jp/epico/）にて公開いたします。

パソコンを使用してのみ、FWバージョンの更新ができます。

使用するWebブラウザは、Javascript support機能が必要になります。

プロジェクターFWバージョンの更新は、以下のブラウザで行なうことができます。
Firefox 12以降
IE 8以降
Google Chrome 18以降
Opera 12以降
Windows版Safari 5.1以降
SafariとMAC OS X 6.0以降

9 仕様

プロジェクター	タイプ	DLP方式
	投写画面サイズ	12.7-127cm（5－50インチ）
	投写距離	約16.5-165cm
	解像度	854×480 画素
	イメージ輝度	50ルーメン
	コントラスト比	500:1
コネクター		電源端子，イヤホン端子，HDMI（Type A）
スピカー		ミックスされたステレオ出力
ワイヤレスネットワーク		○
投影ドキュメント類型	写真	*.jpg, *.png; photo supports up to 24 mega-pixels
	ビデオファイル	*.3gp, *.mp4, *.mov, *.m4v; supports up to 1080p30
	文書	Microsoft ® Word ® (*.doc, *.docx; Office 2003, 2007 and 2010)
		Microsoft ® PowerPoint ® (*.ppt, *.pptx; Office 2003, 2007 and 2010)
		Microsoft ® Excel ® (*.xls, *.xlsx; Office 2003, 2007 and 2010)
		Adobe PDF (*.pdf)

システム	Android 2.3.0以上、iOS 4.3.1以上、 Windows 7、Windows 8
フォーカス調整	手動
電源	内蔵の充電式リチウムポリマー電池 3.7V 2800mAh
投写時間	約90分
動作環境	温度: 0～35℃ 湿度: 10～80%（結露しないこと）
保存環境	温度：0～45℃ 湿度: 0～60%（結露しないこと）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約125.0×60.0×22.5mm
質量	約165g

© 2013 ORIENT ENTERPRISE CO., LTD.
All rights reserved.